

私のミズマキ暮らし

移住者
インタビュー

移住の決め手は、 都市部への交通アクセスと 子育て環境の良さでした。

移住歴1年



嶋田 裕文さん(29歳)
すみれさん(30歳)
かんなちゃん(2歳)

▲主人は北九州市、奥さまは中間市出身。出産を機によりよい子育て環境を求めて2019年7月、水巻町に移住。ご近所でも評判の仲良し家族です。

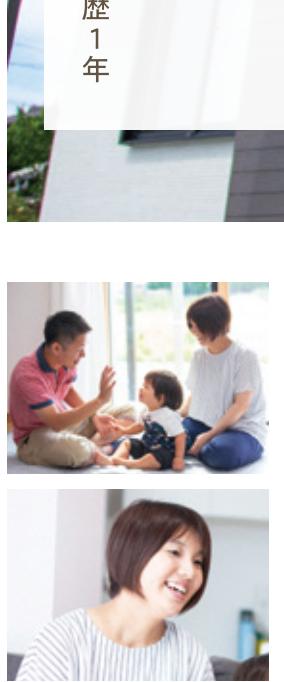
【市内に住んでいた頃より 通勤時間が短くなつてラクラク

「家を出てから職場に着くまで、ドア・ツー・ドアで20分ほど。水巻町に引っ越ししてから、通勤が驚くほどラクになりました」と、笑みを浮かべるのはご主人の裕文さん。JR水巻駅から職場の最寄り駅であるJR黒崎駅の間を、毎日電車で通勤されています。ご自宅から水巻駅までは歩いて5分ほどなので、むしろ北九州市内に住んでいた頃よりも通勤時間は短くなつたそうです。

【平日も家族でふれあう 時間が増えました

「子どもが産まれたのをきっかけに、のびのび暮らせる一戸建てがほしくて市内やその近郊で家を探していました。いろいろ検討した結果、通勤の利便性が高い水巻町を選びました」

そんな裕文さんの決断に、奥さま



のすみれさんも大満足。朝のゆとりができるお弁当や朝食づくりがスムーズになつたうえ、裕文さんが夕方6時には帰宅できるため、家族でふれあう時間が増えたと喜びます。

は、「とってもありがとうございます」と、すみれさん。同じ年頃の子どもを持つお母さん方と一緒に子育てのことを学べる「水巻町子育て支援センター」の存在も心強いと言います。

【家族の夢を後押しした きめ細やかな支援制度

20代にして立派な一戸建てを構えた嶋田さんご夫婦ですが、駅近くにもかかわらず手頃な価格で家を購入できたこと、水巻町から定住促進奨励金が出たことも夢を叶える後押しとなりました。

「第2子の予定もあり、これからお金がかかる時期。中学生まで医療費無料の支援制度があるの

【自然いっぱいのこの町で 元気なわが子の成長が楽しみ

やんちゃ盛りの長女かんなちゃんのお気に入りスポットは、大好きな遊具や緑がいっぱいの「みどりんぱあーく」。嶋田さんご夫婦も「便利がいいのに自然も豊かなので、子どもたちにはきれいな空気を吸って元気に育つてほしいですね」と、水巻暮らしの将来を楽しみにしていらっしゃいます。



▲遠賀川の河川敷は散歩やジョギングに最適。秋にはコスモスが満開です。

「みどりんぱあーく」は、かんなちゃんのお気に入りスポット!

「友人もたくさんできました。同じ年頃の子どもがいらっしゃるお客様の皆さんに子どもたちを育ててもらっています。

そう安堵するのは奥さまの亜希子さん。竜也さんの絶品パスタに惚れ込んだお客さまが知り合いに広めてくださり、やがてお店は大繁盛。キャバが足りなくなつたため、5年前にそれまでより広い現在の店舗を購入し、住まいも町内に新しく家を建てました。

「新型コロナで初めて営業自粛をしたときも、常連さんがテイクアウト利用で応援してくださいましたので、何とか乗り切れました」と竜也さんも感謝しています。

地域の皆さんに子どもたちを育ててもらっています。
「友人もたくさんできました。同じ年頃の子どもがいらっしゃるお客様の皆さんに子どもたちを育ててもらっています。

さまとは、家族ぐるみで仲良くさせてもらっています」と、亜希子さん。ご近所さんからは「さつき見かけたよ」「ちゃんと挨拶できるよ」と4人の子どもたちを気にかけていただき、「お店が忙しいときも地域の皆さんに育ててもらっています」と顔をほころばせます。

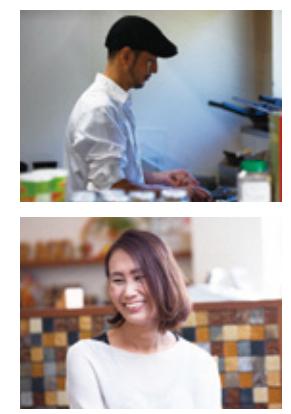


パスタキッチン ドラーゴ
■住所／福岡県遠賀郡水巻町中央9-26
■電話／093-201-7070
■営業時間／ランチ 11:00~15:00
ディナー18:00~22:00
■定休日／月曜日

お店も家族も、地元の皆さんに育ててもらっています。



移住歴8年



お店が繁盛できるのは 地元の常連さんのおかげ

「土地勘はないし知り合いもない。最初は不安でしたが、まったくの取り越し苦労でしたね」

「以前は福岡市に住んでいたのですが、4人の小さい子どもを抱えての開業なので、妻の実家があるお隣の八幡西区を中心で物件を探したんです」

そこで見つけたのが水巻町の貸店舗。家賃の手頃さだけでなく、距離的に近い北九州市からも集客を見込めるのが魅力でした。

お昼どきにはウエイティングの列ができるほど、地元で大人気のパスタ店『ドラーゴ』。オーナーの藤川さんご一家が、水巻町に移してお店をオープンしたのは8年前のことでした。

**藤川 竜也さん(44歳)
亜希子さん(43歳)**
気さくで笑顔が素敵なお二人。4人の子どもたちの育てが終わったらお店を小さくして、地元のお客さまと料理やおしゃべりをゆっくり楽しむのが夢だそうです。



北九州市からも集客を見込めるのが魅力でした